

大槌町教育委員会だより



# 育てよう魅力の花

## 冬休みも「子ども学びの場」で いろんなことに チャレンジしています。

大槌町コミュニティ・スクール「子供支援部会」では、長期休暇中の子どもたちの学びの場と体験活動の機会の保障を目的として、「冬休み子ども学びの場」を1月5日(火)～8日(金)の5日間開催しました。

「子ども学びの場」の開催にあたり、吉里っ子スクールやこども教育センターに加え、コラボスクール、「NPO法人 吉里吉里国」にご協力いただきました。その様子を紹介します。

「自主学習タイム」では、1日の目標を決めて、子どもたちがそれぞれの学習に取り組みました。黙々と課題に向き合って学習を進める子もいれば、分からない問題を友達と教え合ったり、吉里っ子スクールやこども教育センターの職員に教えられたり、励まされたりしながら学習に取り組む子どもたちもいました。

体験活動は子どもたちが体験する活動を選んで参加しました。「木工教室」では、木材に焼を入れて、思い思いの字や絵を書き、自分だけの作品を作りました。

「理科実験教室」では、身近にあるストローとペットボトルを用いて、「吸うと鳴る笛」を工作しました。ストローをどう使ったら音が出るのか試行錯誤しながら楽しそうに活動を進めていました。

「スポーツチャンバラ教室」では、子どもたちは防具を付け、剣を持ってスポーツチャンバラの試合を体験しました。最初はおっかなびっくりだった子どもたちもしだいに白熱し、汗を流して楽しんでいました。

大槌町コミュニティ・スクールでは、学園とPTA、地域の皆様や大槌町で活動する団体の皆さんと力を合わせて、大槌町の子どもたちの「豊かな育ち」と「確かな学び」を支えています。今後も子どもたちの教育活動の充実のために、様々な場面でご協力いただけますようお願いいたします。



自主学習に  
取り組む  
子どもたち



木工教室で作った  
オリジナルの作品



「理科実験教室」  
で笛を作成

スポーツ  
チャンバラの  
試合の様子



## 大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！



大槌高校  
ホームページでも  
行事の様子を  
発信しています！

## 大槌高校生の活躍！ 受賞おめでとう！

- 1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」高校の部 奨励賞（3年連続入賞）  
大槌高校復興研究会（若い世代にも震災を伝承することを目的に制作した「防災絵本」の活動を中心に評価されました。）
- 「税に関する高校生の作文」コンクール 入賞  
2年 臺美咲（だいまさき）さん
- 岩手県高等学校総合文化祭 書道部門 入選  
2年 篠崎愛華（しのざきまなか）さん



校内での表彰式の様子

また、これまでの地域と協働した復興推進活動が評価され、令和2年度「文部科学大臣優秀教職員表彰」に本校が選出されました。※全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校合わせて54校（高校では13校）が受賞

引き続き、地域の皆さまと一緒に魅力ある学校づくりに取り組んでいきます！

## 私たちのマイプロジェクト 応援してください！★第2弾★

今年も、1,2年生が自分の興味・関心を軸に「マイプロジェクト」を企画し、アクションを進めています。地域の皆さんからたくさんのご協力をいただき、プロジェクト実現に向けて日々取り組んでいるところです。

1月号に引き続き、2月号でも大槌高校生たちの個性あふれるプロジェクトを特集します！



### 上町の世代間交流プロジェクト



上町地区の多世代交流の機会を増やしたいという想いから、上町ふれあいセンターで地域の高齢者と子供たちが集まる交流会を企画・実施しました。けん玉やお手玉といった昔遊びを通して、同じ地域に住む住人たちが交流するきっかけをつくることができました。



2年 菊地さん

参加者から「地域住民同士で繋がりを築く機会は重要だ」という声をいただけて嬉しかったです。引き続き、地域の交流の場づくりを広げていきたいです。

### 校歌を通して、音楽を楽しもう！



大槌高校の在校生と卒業生が集まり、思い出を語り合いながら校歌の歌詞の意味を考えるワークショップを企画・実施しました。新型コロナウイルスの影響でオンラインでの実施となりましたが、校歌という共通の歌を多世代で共有する機会となりました。



2年 佐々木さん

「みんなで校歌の歌詞の意味を考えることが予想以上に楽しかった」という意見が印象に残っています。今回はオンラインでしたが、今後は在校生・卒業生みんなで校歌を合唱する機会もつくりたいです。